

調査概要

- 調査対象 7市町 各500人(合計3,500人) 川越市、秩父市、本庄市、戸田市、幸手市、小川町、鳩山町
- 抽出方法 選挙人名簿から無作為抽出
- 調査時期 平成27年5月中旬～6月中旬
- 調査方法 郵送方式
- 有効回答 2,468
- 回収率 全体平均 70.5%

〈各市町の回収率〉

	川越市	秩父市	本庄市	戸田市	幸手市	小川町	鳩山町	計
有効回答数	349	371	350	305	365	374	354	2,468
回収率	69.8%	74.2%	70.0%	61.0%	73.0%	74.8%	70.8%	70.5%

1. 人口移動の要因

7市町全体

○ 7市町全体では、定住意向者の割合は約7割、転居意向者の割合は3割弱となっている。

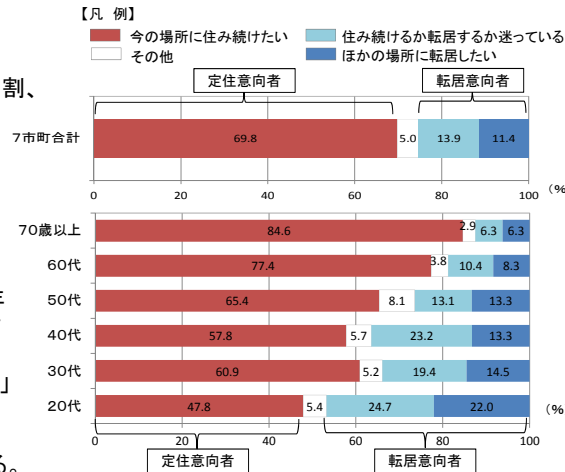
年代別

○ 年代別にみると、転居意向者の割合は、若年層で高く、高齢層で低い。

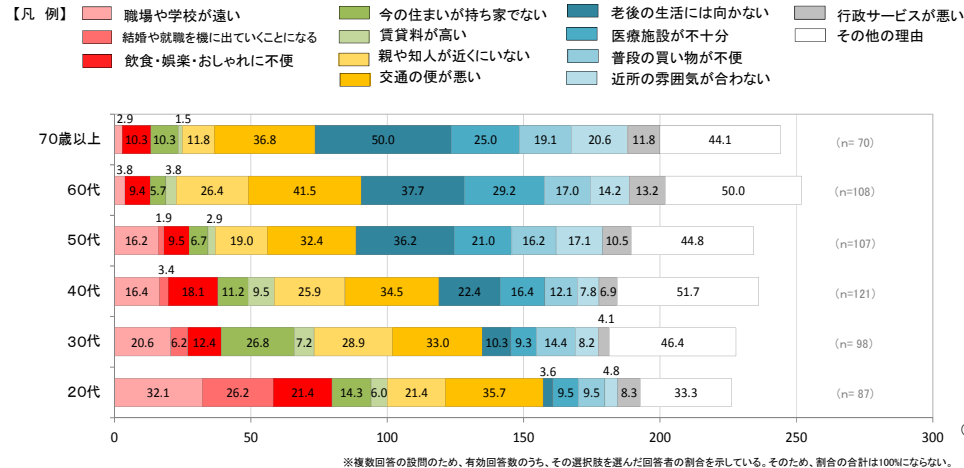
○ 転居意向者が選ぶ転居理由をみると、全年代に共通して「交通の便が悪い」の割合が高いことに加え、若年層では「職場や学校が遠い」や「結婚や就職を機に出ていくことになる」の割合が、他の年代より高い。

また、高齢層では「老後の生活には向かない」や「医療施設が不十分」の割合が高くなる。

■ 図表1 ■ 定住意向者と転居意向者の割合(7市町全体、年代別)



■ 図表2 ■ 転居意向者が選ぶ転居理由(年代別) (最大3つまで回答)



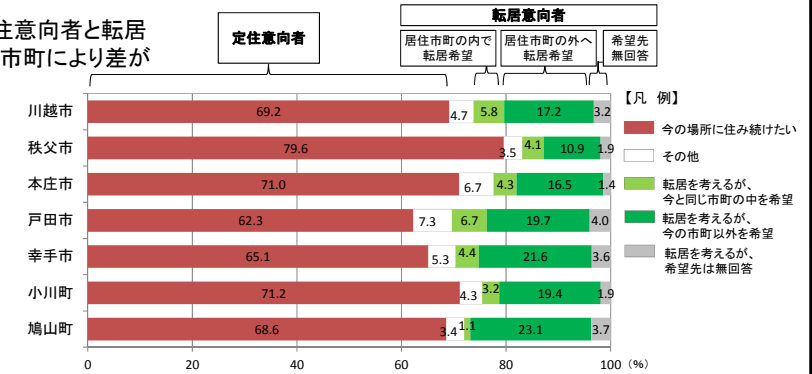
地域別

■ 図表3 ■ 定住意向者と転居意向者(転居希望先別)の割合(地域別)

○ 地域別にみると、定住意向者と転居意向者の割合には、市町により差がある。

〔定住意向者〕
川越市で約8割
秩父市で約6割
戸田市で約6割

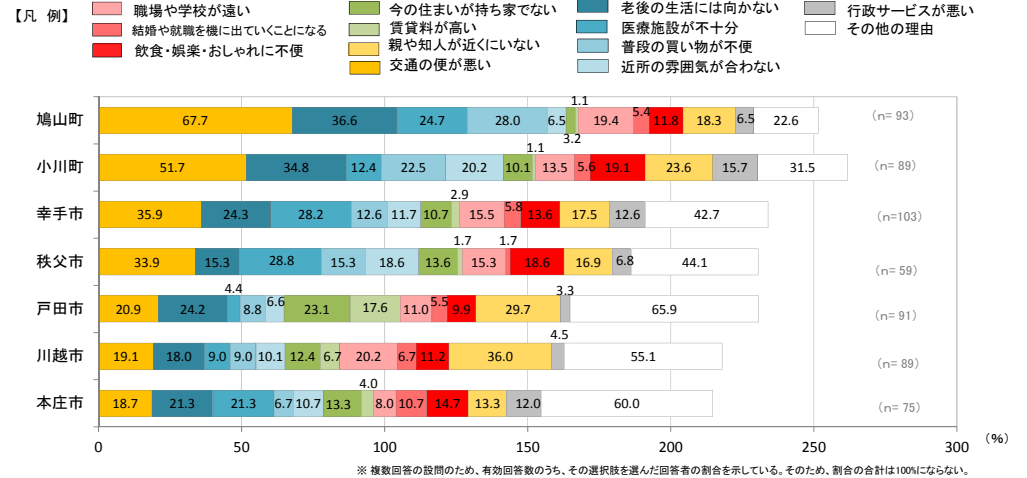
〔転居意向者〕
秩父市で2割弱
戸田市で約3割



○ 転居意向者が選ぶ転居理由は、地域により特徴があらわれている。

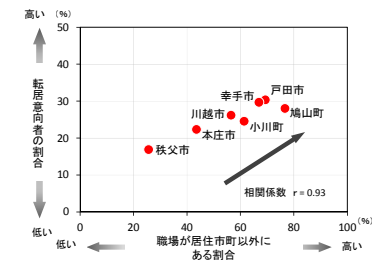
- ・鳩山町、小川町：各年代で「交通の便が悪い」の割合が高く、高齢層では「老後の生活には向かない」の割合が高い。
- ・幸手市、秩父市：各年代で「交通の便が悪い」がやや高く、「医療施設が不十分」の割合が高い。
- ・戸田市、川越市：年代により構成割合は異なるが「親や知人が近くにいない」の割合が他の市町に比べて高い。

■ 図表4 ■ 転居意向者が選ぶ転居理由(地域別)



○ 転居意向者の割合が高い地域は、「職場が居住地以外にある」割合が高い。

■ 図表5 ■ 「職場が居住地以外にある割合」と「転居意向者の割合」の関係



2. 居住地域の人口減少への対策

- 「居住地域の人口減少について、どのような対策が一番重要か」という質問に対して、秩父市・本庄市・幸手市・小川町・鳩山町では「産業を誘致して雇用を増やす」の回答割合が最も高くなっているが、川越市と戸田市では同回答の割合が低い。
- 「行政サービス（保健、福祉、教育）を充実」と回答した割合は戸田市と川越市が高く、産業分野よりも、生活の質を向上させるための、より良いサービスを求める回答が多い。
- 鳩山町では「産業を誘致して雇用を増やす」に次いで「公共交通機関の整備充実」が高い割合を占めている。「最寄り駅までの交通手段は何か」という質問に対して、同町は他市町に比べてバスの利用割合が高い。

■図表6■ 居住地域の人口対策について一番重要な対策（地域別）（5位までに3市町以上ランクインしている対策を着色）

Q5. あなたのお住いの地域では、人口減少についてどのような対策が一番重要だと思いますか。

	川越市	秩父市	本庄市	戸田市	幸手市	小川町	鳩山町
1位	行政サービスを充実 37.0	産業誘致して雇用を増やす 49.7	産業誘致して雇用を増やす 27.4	行政サービスを充実 38.0	産業誘致して雇用を増やす 24.9	産業誘致して雇用を増やす 26.4	産業誘致して雇用を増やす 29.4
2位	産業誘致して雇用を増やす 12.8	地元産業を見直し復興 10.8	行政サービスを充実 25.4	近隣自治体と協力して地域の魅力を高める 9.0	行政サービスを充実 18.8	行政サービスを充実 17.9	公共交通機関の整備充実 20.2
3位	機能集約した小さなまちで効率化 6.9	行政サービスを充実 8.6	近隣自治体と協力して地域の魅力を高める 8.3	特に対策は必要ない 9.0	近隣自治体と協力して地域の魅力を高める 14.6	地元産業を見直し復興 11.4	近隣自治体と協力して地域の魅力を高める 13.8
4位	公共交通機関の整備充実 6.0	近隣自治体と協力して地域の魅力を高める 5.5	農業の企業化で職場を増やす 7.4	産業誘致して雇用を増やす 8.3	公共交通機関の整備充実 9.0	近隣自治体と協力して地域の魅力を高める 8.7	行政サービスを充実 10.4
5位	歴史・文化等の魅力発信 6.0	農業の企業化で職場を増やす 4.7	地元産業を見直し復興 6.8	公共交通機関の整備充実 8.0	機能集約した小さなまちで効率化 7.8	公共交通機関の整備充実 8.2	機能集約した小さなまちで効率化 4.6
6位	近隣自治体と協力して地域の魅力を高める 5.1	歴史・文化等の魅力発信 4.1	住宅を整備して移住を増やす 6.2	機能集約した小さなまちで効率化 6.7	住宅を整備して移住を増やす 5.0	機能集約した小さなまちで効率化 7.1	住宅を整備して移住を増やす 3.7
7位	住宅を整備して移住を増やす 4.5	公共交通機関の整備充実 3.9	公共交通機関の整備充実 5.0	住宅を整備して移住を増やす 6.0	農業の企業化で職場を増やす 5.0	農業の企業化で職場を増やす 4.9	農業の企業化で職場を増やす 3.7
8位	地元産業を見直し復興 4.5	住宅を整備して移住を増やす 2.2	機能集約した小さなまちで効率化 3.2	地元産業を見直し復興 4.7	地元産業を見直し復興 3.1	歴史・文化等の魅力発信 4.3	大学等との学園都市を目指す 3.5
9位	農業の企業化で職場を増やす 3.9	大学等との学園都市を目指す 2.2	大学等との学園都市を目指す 2.1	大学等との学園都市を目指す 2.3	大学等との学園都市を目指す 2.5	住宅を整備して移住を増やす 3.8	地元産業を見直し復興 2.9
10位	特に対策は必要ない 2.7	機能集約した小さなまちで効率化 2.2	特に対策は必要ない 0.9	農業の企業化で職場を増やす 1.3	歴史・文化等の魅力発信 0.6	大学等との学園都市を目指す 0.8	歴史・文化等の魅力発信 0.9
11位	大学等との学園都市を目指す 1.5	特に対策は必要ない 0.3	歴史・文化等の魅力発信 0.3	歴史・文化等の魅力発信 0.0	特に対策は必要ない 0.3	特に対策は必要ない 0.5	特に対策は必要ない 0.9
(参考)	わからない 9.3	わからない 5.8	わからない 7.1	わからない 6.7	わからない 8.4	わからない 6.0	わからない 6.1

3. 出産・子育ての意欲を高めるための対策

- 「子どもを産み育てる意欲を高める効果的な対策は何か」という質問に対して選ばれている項目の割合は、7市町合計でみると上位3項目は同程度の割合であった。

〔7市町合計での上位3項目〕

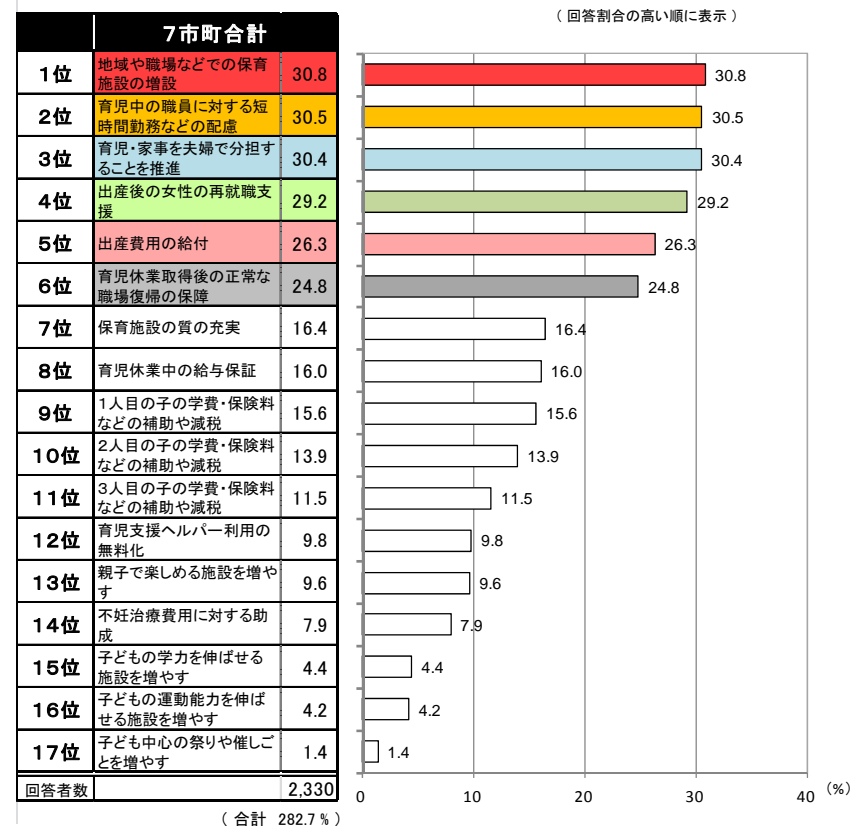
- 1位 「地域や職場などでの保育施設の増設」
- 2位 「育児中職員に対する短時間勤務などの配慮」
- 3位 「育児・家事を夫婦で分担することを推進」

- 各市町で選ばれている項目の割合は、1位から6位までの順位は異なるものの、上位6項目は7市町で共通している。

7市町全体

■図表7■ 出産・子育ての意欲を高めるための対策（7市町全体）

Q18. 子どもを産み育てる意欲を高める効果的な対策は何か。（3つまで選択）



※複数回答の設問のため、有効回答数のうち、その選択肢を選んだ回答者の割合を示している。そのため、割合の合計は100%にならない。